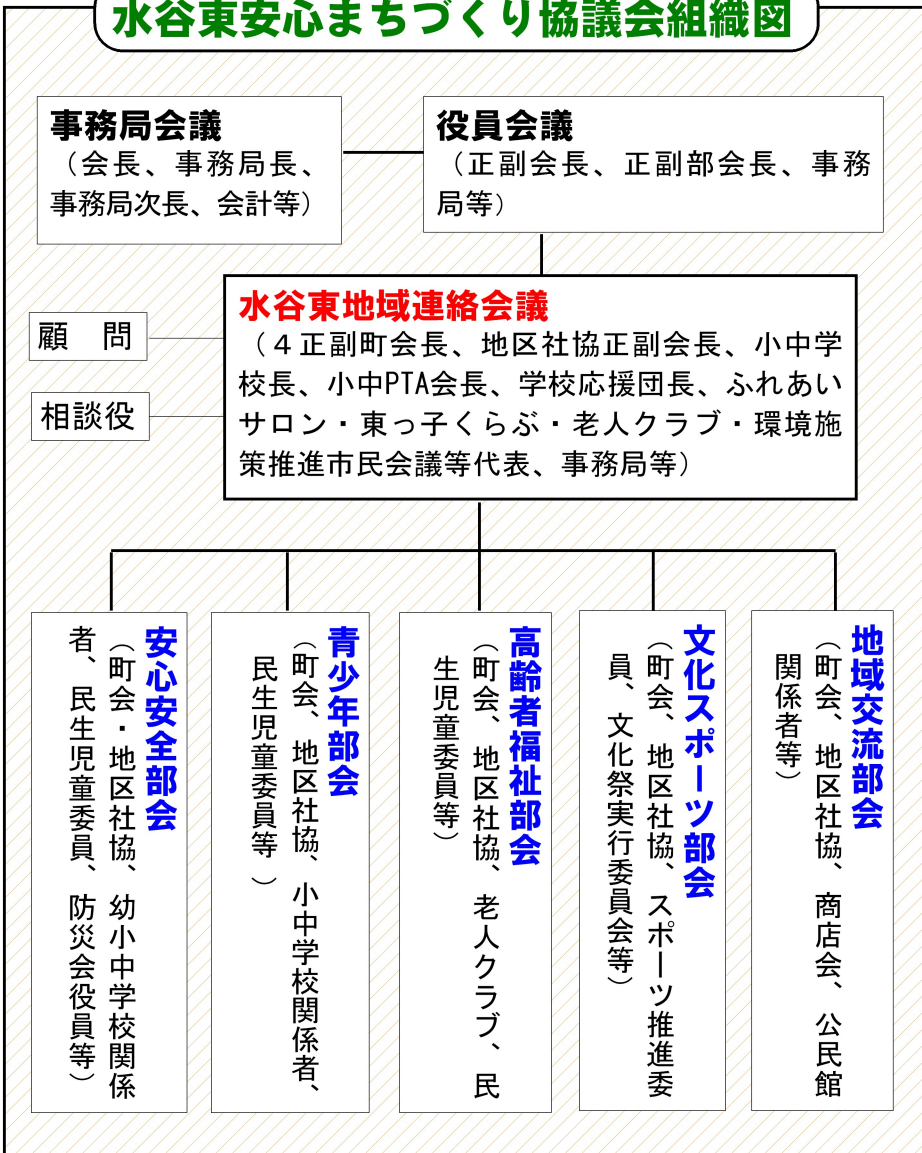


### 水谷東安心まちづくり協議会組織図



## 水谷東公民館だより

# No.375

# ひがし

編集 水谷東公民館だより編集委員会  
 発行 水谷東公民館  
 〒354-0013  
 富士見市水谷東2-12-10  
 TEL 048-473-8717  
 FAX 048-471-7555  
 E-mail: fkm-hi@krc.biglobe.ne.jp

# 住民主体の まちづくり

## 水谷東安心まちづくり 協議会発足

平成24年度のスタートにあたり、水谷東地域におけるさまざまなイベントや事業を担う新しい組織が結成されました。その名も「水谷東安心まちづくり協議会」。水谷東地域の4町会や地区社会福祉協議会をはじめとするさまざまな地域団体の枠を超え、連携を深め、高齢化の進む地域におけるいろいろな取り組みを活性化するための新たな仕組みです。

### 豊かで安心な まちをめざして

4月7日（土）午後、水谷東公民館で『水谷東安心まちづくり協議会発足式』が開催されました。当日は、各地域団体関係者約60名の参加を得て、盛大に開催されました。



発足式の冒頭、会長の清水実さんが、あいさつの中で「水谷東安心まちづくり協議会」の会則前文にも示されている水谷東地域におけるまちづくりの五つの基本的姿勢について述べられました。

- ①一人ひとりの豊かで安心な暮らしを目指す。
- ②主人公は、私たち住民であり、住民全員参加でまちづくりを行う。
- ③他者を尊重した民主的運営を行い、次世代へつなぐための不断の活動が必要だということ。
- ④水谷東公民館をまちづくりのための拠点施設として位置づけ、地域を知る学習活動を推進すること。
- ⑤まちづくりに当たっては、行政との協働が必要だということ。

以上、この観点に立って、この協議会が、情報等の集約と蓄積の一元化を図り、以前から水谷東で行われていた様々な事業を総合的かつ計画的に進めていくことが大切と、強調されました。

ちづくり協議会の設立について高い評価をいただきました。さらに事務局長の富塚公民館長から会則について、この組織が「単に仕事を増やすのではなく、これまで通りの取り組みをより取り組みやすく、また内容を深めていくことができるようになるもの」との説明がありました。その後、役員全員の紹介を経て、事務局から当面の各部会開催のスケジュールが提案され、閉式となりました。今後の取り組みについても「公民館だより」でもさらに追っていく予定です。

### 水谷東まちづくりの 歴史に新たな一頁

引続き、来賓のあいさつでは星野市長・森元教育長・奥村副市長から、水谷東地域の各種まちづくり活動に対する先進性や、時代を先取りした安心ま

### 水谷東安心まちづくり協議会役員名簿

- 会長：清水 実（3丁目町会長）  
 副会長：中村仙之助（1丁目町会長）  
 "：西澤 輝（2丁目町会長）  
 "：柳樂光廣（榎町町会長）  
 安心安全部会長：清水 実（3丁目町会長）  
 同副部会長：加見昇司（水谷東小PTA会長）  
 青少年部会長：中村仙之助（1丁目町会長）  
 同副部会長：土生はま子（地区社協副会長）  
 高齢者福祉部会長：川上伸夫（地区社協会長）  
 同副部会長：富永幸男（地区社協高齢者部会長）  
 文化スポーツ部会長：柳樂光廣（榎町町会長）  
 同副部会長：平井光夫（公民館運営審議会委員）  
 地域交流部会長：西澤 輝（2丁目町会長）  
 同副部会長：野口健一（東っ子くらぶサポーター）  
 事務局長：富塚一資（水谷東公民館長）  
 事務局次長：川上伸夫（地区社協会長）  
 事務局会計：本間廣子（3丁目副町会長）  
 監査：沼田定次（ふれあいサロン運営委員長）  
 "：鈴木欣一（公民館運営審議会委員）  
 顧問：関野兼太郎（地元市議会議員）  
 "：瀬戸口幸子（ " ）

### 新しいまちづくりのしくみ

清水 実（水谷東安心まちづくり協議会会長）

水谷東地域は、防災・防犯・介護予防などの分野で市内でも先進的な活動を進めています。榎町を含む4町会や地区社協を中心として、ふれあいサロンの活動や独り暮らしの高齢者への声かけなど、きめ細かい取り組みが地道に進められています。そのような取り組みの一方で、各町会の夏祭りをはじめ、ふるさとまつり・地区体育祭・イルミネーションなどさまざまな交流イベントが繰り広げられています。地道な地域コミュニティ活動を進めていくためには、このような楽しく・美味しいイベントが欠かせないということは、この地域の歴史が物語っていると思います。

このたび設立された「水谷東安心まちづくり協議会」は、このようなさまざまな取り組みをそのまま継続しながら、関係する団体間の横のつながりをより深め、活性化を図るための新たなまちづくりの仕組みです。富士見市制40周年の節目の年にふさわしい、水谷東地域の新たな歴史の一頁を彩る取り組みです。地域住民の皆さまのより一層のご理解・ご協力をお願いいたします。





ひがしの窓5月

Table with 3 columns: Date, Location, Event. Includes events like 'みずほ幼稚園 こどもの日の集い', '水谷東小学校 全校ハイク', etc.

第25回水谷東地区親睦スポーツフェスティバル(グラウンドゴルフ)の結果(以下敬称略)

- 団体の部: 優勝 3丁目わかば会A, 準優勝 第二富士見自治会A, 第3位 榎町A
一般個人の部: 優勝 岩上雅子(第二富士見A), 準優勝 加藤正(わかば会A), 第3位 伊東四壮喜(3丁目A)
小学生の部: 優勝 高山敦貴(3丁目B), 準優勝 坂田宏輔(3丁目B)

水谷東公民館職員の異動

(4月1日付)
◇よろしくお願ひします
水宮 明美 (人権・市民相談課から)
◇お世話になりました
河合 明美 (高齢者福祉課へ)



水谷東ふれあいサロン情報

- ※サロン定例映画会はお休みです。
●ホット安心健康相談 日時: 5月10日(木)午後1時30分~
●水谷東子育てサロン 日時: 5月9日(水)午前10時~11時30分
●おでかけぴっぴのひろば 日時: 5月16日(木)午前10時~11時45分
●パソコン相談室 日時: 5月1・8・15・22日(火)



第28回水谷東ふるさとまつり

日時: 5月26・27日(土・日)
会場: 前沼公園・水谷東公民館(ピアホール)
内容: 特設舞台発表・模擬店・フリーマーケット・遊び広場・子ども山車・大抽選会・地区社協ピアホールなど
※詳しくは全戸配布のチラシ(抽選券付き)をご覧ください。



平成24年度熟年学級受講者募集

対象: 水谷東地域在住の60歳以上の方
期間: 平成24年6月14日(木)~3月14日(木)
内容: 月1回の全体会(必修)とクラブ活動(9クラブから選択)
参加費: 無料(但し、クラブ活動等で実費徴収する場合あり。)
申込み: 5月8日(火)から申込み用紙を配布
受付期間: 5月9日(水)~23日(水)まで



富士見市制40周年記念事業

第21回ふじみヘルシーウォーク大会
とき/5月20日(日) 小雨決行
受付/7:30~(市民総合体育館前・開会式8:10~)
コース/健脚コース(約12km)ファミリーコース(約7km)
参加資格/完歩できる方(市外の方の参加も可)
申込方法/<事前申込み> 4月18日(水)~5月16日(水)
参加費(大人300円、中学生以下100円)を添えて公民館へ。
主催/富士見市スポーツ推進委員連絡協議会、市教育委員会
協力/富士見市体育協会、富士見市交通指導員



富士見市制40周年記念連載企画 40年!いま☆むかし

①「仕込み」 谷口 浩一

◆1972年8月、山田市政が始まり風景が変わりつつある中、私は相変わらず回覧文の鉛筆を握る。下書きは紙面割り付け配慮する。それに神経を尖らせつつガリ版を切っていく。その一連の作業は、あたかも料理の下ごしらえ・仕込み同然だ。◆時は移り、ガリ版から青焼きコピーそしてワープロへの大衆化が1980年代後半に到来。下書き不要、消去・修正の容易性、利便性の反面、脳天気作業の極みとは言えないか。我が家の即席料理も同然と覚えたり。◆新市政から2年後、父さんたちの野球チーム、水子ファザーズを立ち上げ。当初ポチポチながらも、ついにはバス2台で家族旅行をするまでに発展。下ごしらえに手間をかけた効果は充分。◆時は流れて、メンバーの中には転出者や物故者が多く、今では10人を切るわびしさ。しかし、仕込みの良さは、今日に至って芳醇な香りと旨味をもたらす。メンバーがそれぞれの個性を生かして社会貢献に参加。その極めつけは、マネージャーSさん。いよいよ本物の味がしみ出てきた。敬愛する我が友に自ずと頭が垂れる。(水谷東3丁目)



統計ひがし(H24.2.29現在)

Table with 6 columns: 町会, 世帯, 人口, 男, 女, 増減. Includes data for 1丁目, 2丁目, 3丁目, 榎町, and 合計.

※増減は前回(H24.1.31)人口比です。

子ども公民館5月

○子ども尺八教室 (指導: 久保田士朗さん)
5月5・19日(土)
午後3時~5時



編集後記

今年の冬は寒さが厳しく、新緑の季節が待ち遠しく、その訪れがうれしかった。また、東日本大震災から1年が過ぎましたが、被災地への思いを続けながら、ずっと応援したいという気持ちです。さて、水谷東安心まちづくり協議会が発足しました。市内では南畑地域に続く先進的な取り組みなのだそう。私たちがまち水谷東の良きところは、多くの住民がとにかく前向きで、協力的だということ。どの年代の人たちとも交流を持ち、たくさんの方の絆を深めていきましょう。(石垣編集委員)



2月の17・18日、宮城県東松島市へボランティアに行ってきました。僕にとって震災後初めての被災地訪問でした。震災から約1年たち、少し意識が薄くなっていました。そんな中、夜行バスに乗り現地へ着くと、信じられない光景が広がっていました。使用されていなかったコンベア、そして状況ではないコンベア、そして沢山の工場だと思っていたものは仮説住宅でした。今、何も不自由なく震災前と同じような生活をしている僕には考えられないものでした。見学を終え、市の施設へ移動し現地の子どもと遊びました。遊ぶ前はどのように声をかけようかと不安があったのですが、実際に遊ぶと元気がいっぱいになり、僕も夢中になって

被災地を訪ねて 森口 拓斗 (榎町・大学生)

いま。しかし、ある女の子と彼女の話になり「遠距離が原因で別れてしまった、津波で彼女の家が流れてしまったから」とこの言葉を聞いて、僕はなんと行ってあげればいいのかからなくなってしまいました。この子だけでなく、多くの子たちが心に深い傷を負ったのにも関わらず、それを全く感じさせないほど笑顔いっぱい遊んでいました。この子たちを見て本当に強いと思ったし、僕たちが今できることは思いっきり一緒に遊んで笑うこと、そして被災地の現状を忘れないことなのだと実感しました。一人でも多くの子の笑顔を見られるように次回もボランティアに参加します。